

東御市子どもサポートセンターの役割



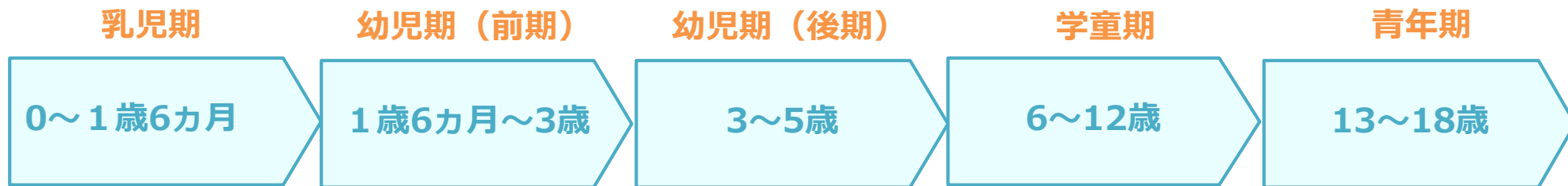
こどもが自立した個人として
ひとしく健やかに
成長することのできる
地域を目指して

東御市 健康福祉部 子ども家庭支援課
子どもサポートセンター

I 「子どもサポートセンター」とは？

子どもの健やかな成長を支えるため
妊娠・出産から子どもが大人になるまでの一連の成長ステージにおいて
切れ目なく、継続的に支援するための機関

保健・福祉・子育て・教育の“縦割り”を廃し
チーム支援により子どもの成長に伴走する



Ⅱ 子どもサポートセンターなぜ必要？

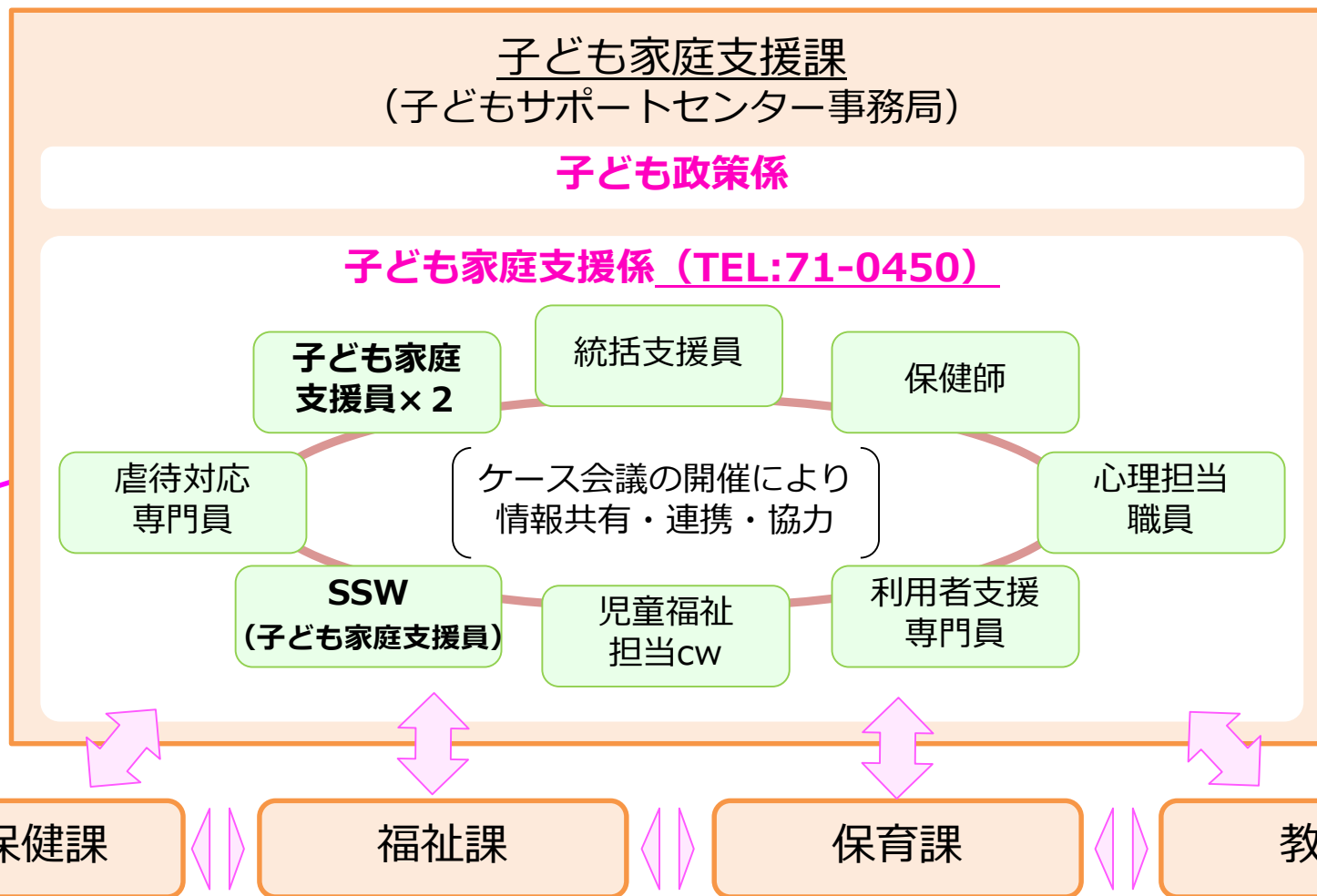
例えば…

- ◆ 子ども本人はとても困っているのに、周囲の人からは理解されにくい…**発達障がい**
- ◆ 子どもは家庭を基盤として、地域や学校など、様々な場所において多くの人と接する中で成長するものなのに、関わりが少なくなっている…**不登校・孤独化**
- ◆ 子どもの健やかな成長のためには、親としての成長も支え、その責任を果たせるようにすることが大切なのに支援が行き届かない…**虐待・貧困**

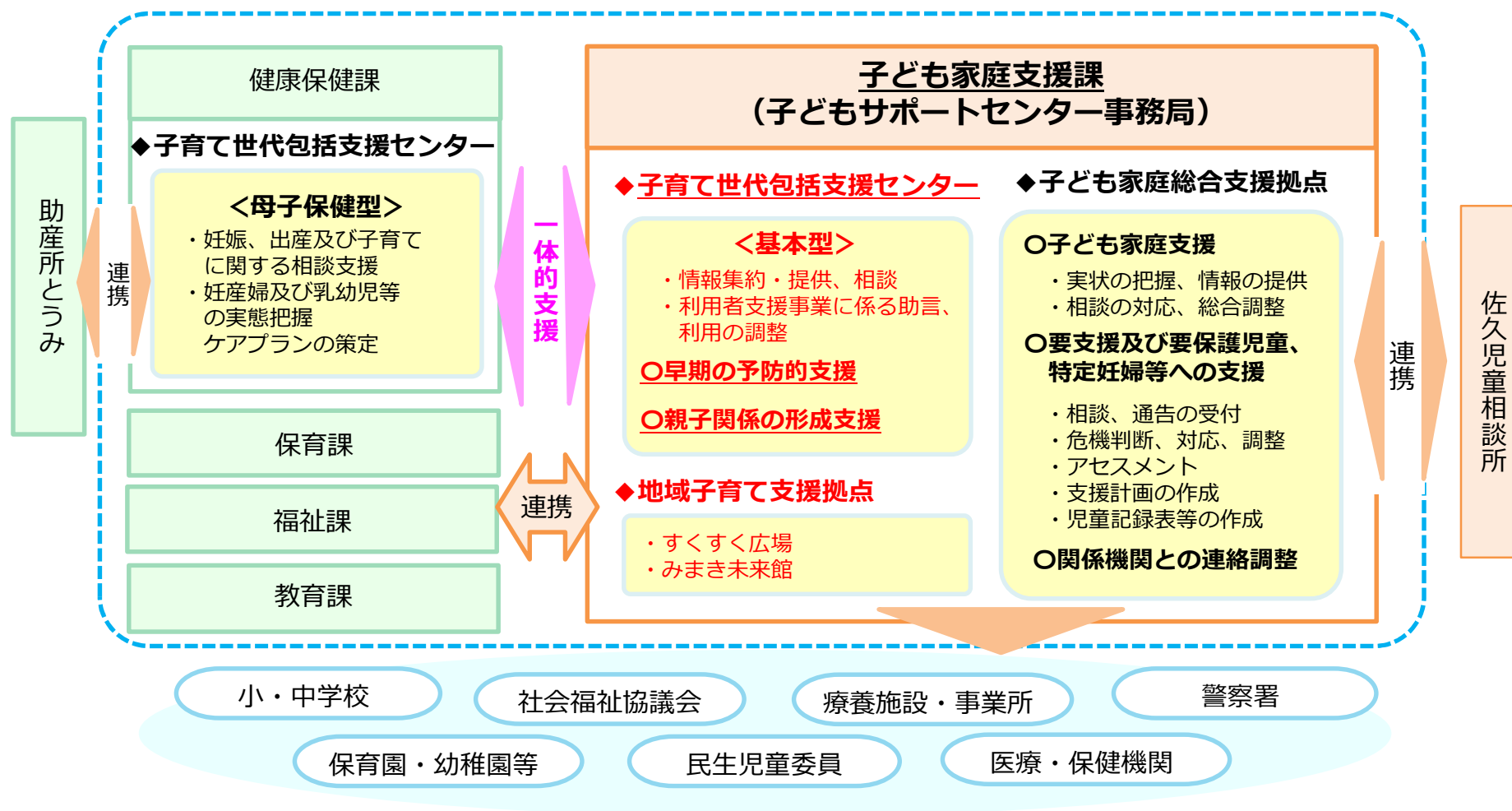
子どもの抱える困難は、子ども自身の要因のみならず、家庭内における親子の関係性家庭環境など、様々な要因が複合的に重なり合って表面化

単一分野の専門性のみで解決することが困難

Ⅲ 子どもサポートセンターの体制 (R5.4~)



IV 「子どもサポートセンター」の連携体制（R5.4～）



V 子どもサポートセンターの目指すところ

“すべての子どもが、自立した個人として健やかに成長することができる社会の実現”

このために…

◆ 妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援の推進

- ・ 待ちの支援から予防的に関わる支援の強化 ⇒ 早期発見・早期支援
- ・ 親と子を誰ひとり取り残さない支援 ⇒ 孤立・孤独の解消

◆ 子どもの「生きる力」を育む支援の充実

- ・ 不応適・不登校要因の的確な把握と早期支援 ⇒ 不登校の解消
- ・ 困難を抱える子どもが生き抜く力を育む居場所の創設 ⇒ 第三の居場所

◆ 子育て・子育てを社会全体で支える地域づくり

- ・ 子育て家庭をみんなで支える仕組みづくり ⇒ 見守り支援員の創設検討
- ・ 身近な地域の居場所づくり ⇒ 子どもの居場所づくり